

全日本不動産協会様
不動産保証協会様 説明資料

滋賀県流域治水条例施行に伴う 宅地建物取引時の義務規定について ～簡単にできる水害リスク情報の提供～

滋賀県流域治水政策室
平成29年11月17日



本日の予定

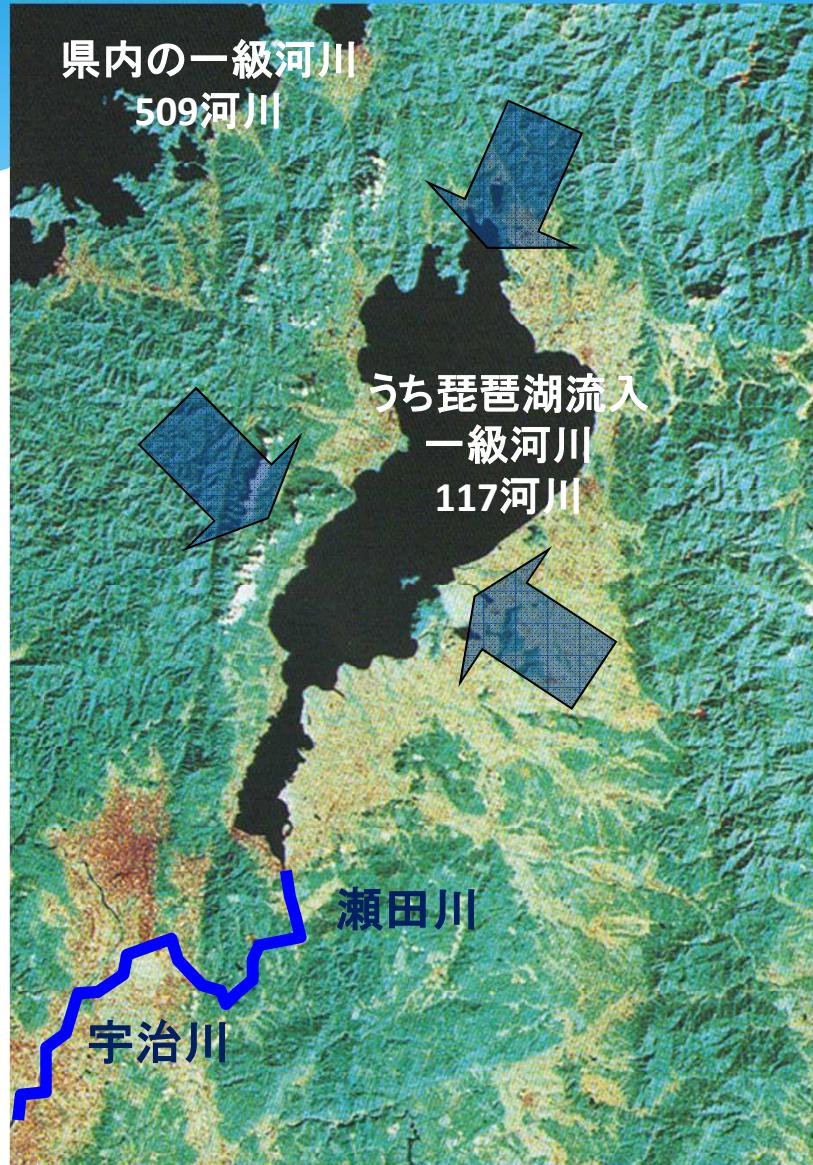
1. 滋賀県の地形特性
2. しがの流域治水
3. 滋賀県の浸水特性
4. 浸水リスク図の種類
5. 流域治水の4つの対策
6. 流域治水条例における宅地建物取引時の義務規定
7. 宅地建物取引業者対象のアンケート調査結果
8. 簡単にできる水害リスク情報の提供方法

1. 滋賀県の地形特性

琵琶湖・淀川水系



滋賀県の地形特性



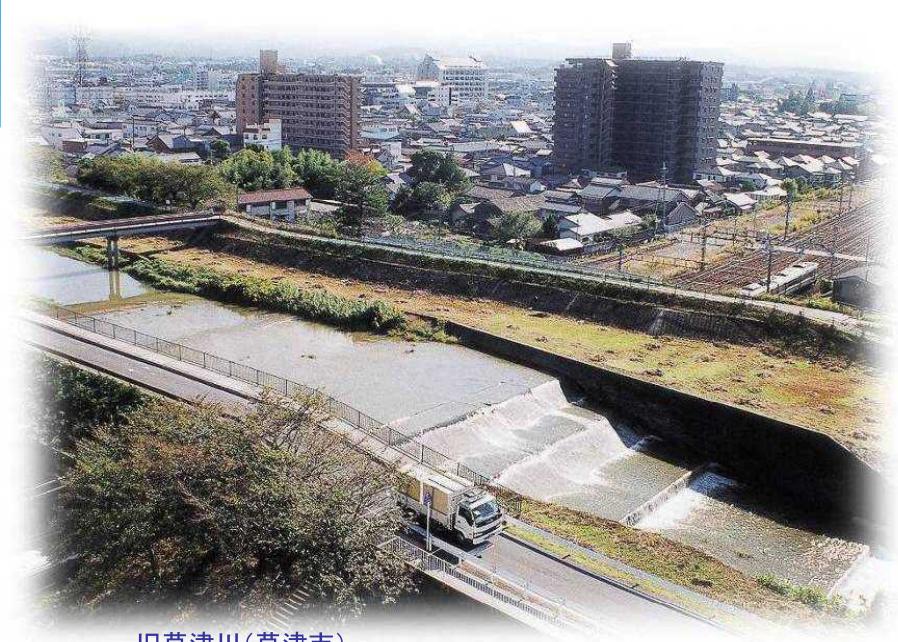
- * 山に囲まれ、雨のほとんどは琵琶湖に流れる。
- * 琵琶湖流域面積 3,848km²
- * 琵琶湖貯水量 275億m³
- * 琵琶湖面積 674km²
- * 水位1cm=674万m³

滋賀県の社会特性



- ・ 県南部では、農地等での開発が進み、人口が増えている。
- ・ 人口 約141万3千人
- ・ 人口増加率 $\triangle 0.01\%$
– 47都道府県中 8位
(平成28年10月1日 人口推計)

天井川が全県的に存在



旧草津川(草津市)



犬上川(彦根市)



大砂川(湖南市)

**天井川 滋賀最多 81本
京都2位 23本**

京都府南部で災害による水被害を拡大させた天井川について、都道府県別の本数は、滋賀県81本と全国で最も多く、奈良県が23本で2番目に多い。一方で、うち約半数が集中する現状が明らかになり、改修や抜本的対策を求める機運が高まっている。(京都新聞記事)

全国の半数集中

同僚公理・国土保全局が8月1日付で天井川が集中する地域の一部が1カ所で地元の河川管理者として天井川として各河川局が回答を求めた。

滋賀(81)、京都(23)、奈良(13)、愛知(12)、新潟(10)などであった。東北、関東、近畿、中国地方なども回答があった。

削られやすい山地多く

植村晋博・伊豆大教授(自然地理学)の話、天井川は多くの人の共同開拓によるもので、土砂が川を堆積し、たまつた土砂を運びて堆積していくなど、人の手で削られた結果である。

多くの河川は、本流よりもやや下流の支流の山地が多い特徴がある。山地は、近代以降、河川の治水工事の山地である。開拓されて、土砂の堆積に人々が心配してきた結果だ。

天井川は、本流の河川の水を多く奪うので、河川の水位が低下して、水害が発生した上で、中流域の支流が開拓して、河川の水を多く奪うので、河川の水位が低下して、安否確認を始めたところである。

京都府南部で災害による水被害を拡大させた天井川について、都道府県別の本数は、滋賀県81本と全国で最も多く、奈良県が23本で2番目に多い。一方で、うち約半数が集中する現状が明らかになり、改修や抜本的対策を求める機運が高まっている。(京都新聞記事)

国交省が初調査

平成24年9月20日京都新聞(朝刊)

